

# ちくさええとこ通信

No.1

2014.07.15 発行

発行者 千種まちづくり推進委員会  
中央市千種町河呂 189 番地 20  
TEL・FAX 0790-76-3995



【第25回 西播磨地区消防操法大会】  
【ポンプ自動車の部】

千種支団 第一分団

# 祝 優勝!

6月29日(日)、三木市にある兵庫県広域防災センターにおいて、「第25回西播磨地区消防操法大会」が開催されました。千種支団 第一分団(千草・黒土・中島)が、中央市代表として【ポンプ自動車の部】に出場され、見事優勝されました。なお、第一分団は、8月3日(日)に開催される「兵庫県消防操法大会」に西播磨地区代表として出場されます。

鳥羽弘章分団長談

「皆様のご協力のおかげで優勝することが出来ました。県大会も団員一丸となって頑張ってもらいますので、ご声援よろしくお願いたします。」

## じあいせつ

千種まちづくり推進委員会

会長 船 曳 順 市

未来を託する子や孫のために何んとかせなあかん、今が頑張る時と老体にむちを打つ!

わがふるさと千種町の人口は、昭和二十五年に七、〇〇〇人近くありましたが、少子高齢化や社会構造の変化もあいまって平成二十六年には三、四〇〇人を下回るまでに減少してきました。高齢化率も34%を超え地域の活力が失われています。少子高齢化がもたらす課題は多く千種地域の将来に危機感を感じます。

今の千種の現状を真に受け入れる中で『自分たちにできること』は何かを考え実践していきたい。日々、疎遠になりがちな時代ですが、人と人、一層の絆を深め、『協働型福祉社会』の構築を願っています。思いの一端を述べごあいさつと致します。

活動へのご支援とご参画を心からお願いいたします。

## おもてなし部会

部長 村 下 尚 彦

町内の各種団体・グループの交流、世代間・地域間の交流など、さまざまな交流活動や、また、町外の団体・グループとの交流活動や、来訪者との接点を大切にした事業の展開を実施します。

## ちくさっ子育成部会

部長 日 平 和 宏

ちくさっ子育成部会の役割は、①ちくさっ子を育てる会と連携して、ちくさっ子・学校・地域を結ぶパイプ役になること。②ちくさっ子たちが、「ちくさを学び・ちくさを誇り・ちくさを心の拠り所となるよう」に地域全体で育てること。そして③ちくさっ子の育成に関わることによって、地域全体のやりがい・生きがいを創造していくことです。

町民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 千種の魅力発信部会

部長 今 井 和 夫

仕事が終わってビールを開ける。やかましいテレビの喧騒じゃなく、カエルの合唱の心地よいこと。夏の夜、網戸ごしの風の音。(でもムカデはごめんでチョ。)「田舎ええとこ、千種ええとこ。」そんなこと一杯載せましょ。

## 千種まちづくり推進委員会からのお願い

自治会、隣保、各種団体、サークル、他、何でも、いい話がありましたらご一報下さい。あるいは、投稿をお待ちしています。また、みなさんも、ぜひ、まちづくり推進委員会にご参加ください。

千種まちづくり推進委員会  
TEL・FAX 76-3995



## ちくさっ子を育てる会

昨年度発足した「ちくさっ子を育てる会」は、**子どもを主とした地域づくり**を活動方針とし、千種の教育資源である【希にみる自然】【住む人の温かい情】【くらしに根づくたくましい生き方と術】【先人の誇れる足跡と伝統文化】等を、子どもたちが知り、気づき、誇りとすることでちくさっ子一人一人の心の拠り所となることをめざしています。そして、地域、各種団体、各種サークルの方々とのふれあいの過程において、交流の輪が年齢層を超えて縦に横にと繋がっていくことを願っています。

◇ 昨年度の活動から

【学校園への支援活動】

「小学校総合的な学習支援」



小学校5年生が「いまい農場」を訪ね、ちくさの農産物の学習をしました。頂いたゆでたての卵の味は、最高でした。



「休耕田を活かす会」の方々と休耕田にコスモスの種やグラジオラスの球根を植え付けました。

「中学校『ちくさ学』支援」



中学校2年生が、ちくさが誇るいにしへの製鉄法「たたら製鉄」に挑戦しました。

【学校園との協賛活動】

「小中高合同しめ縄づくり」



小学生・中学生全員が、各自治会の老人クラブの皆さんのお世話になり、正月を飾るしめ縄づくりに挑戦しました。さすが中学生は慣れた手つきで大人顔負けのしめ縄をつくりました。小学生は初めての体験でしたが、それでも一生懸命作ったしめ縄は、思いがこもり、各家庭の正月を飾りました。



「保幼小中高ふれあい文化祭」



幼稚園児と高校生によるダンス。「保幼小中高合同ふれあい文化祭」ならではのこの光景は、ちくさの誇りです。

【育てる会主催活動】

「ふれあいフェスタ出品・出店」



「ちくさっ子を育てる会」が、手作りクッキーの販売、育てる会のTシャツの販売や昔のおもちゃで遊べるコーナーを作り、子どもたちで賑わいました。



老人クラブのみなさんが、ちくさっ子のために昔の遊びコーナーを設けてくださいました。水鉄砲・おはじき・紙鉄砲・竹馬と今では珍しい遊びで溢れました。





## トピックス クリンソウ

今年も多くの方が、天見屋たたら里公園とちくさ湿原のクリンソウをご覧いただき、ありがとうございました。

お越しいただいた方の中には、千種のクリンソウの規模が天然の群落では全国でも最大規模のものと評される方もあり、大好評のうちにシーズンを終えることが出来ました。

延べの来場者も昨年の3000人を上回り、4000人以上の方に鑑賞いただいた模様です。

尚、「クリンソウを守る会への活動協力金」につきましても、昨年以上に多くの方にご協力をいただき、ご支援をいただきましたこと、心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

宍粟市・クリンソウを守る会



### 千種のイベント情報

- 7月26日⊕ 妙見夏まつり
- 7月27日⊕ ちくさ高原ゆいまつり
- 7月28日⊕ 河内川そそまつり
- 10月26日⊕ ちくさふれあいフェスタ

### 編集後記

百姓根性、おやじから稲づくりを引き継ぎ丸五年を迎えた。どえらいえらいがなあーあたり前じゃ! やる以上は良い米を少しでも多くと思うが奥は深い。銭金じゃない。百姓根性が芽生えた。畦に腰を下ろす。心が休まる田んぼのひととき。ええとこ通信への投稿をお待ちしています。

山本 繁